

「原口早生」シートマルチ栽培における早期粗摘果による果実肥大促進						
〔要約〕粗摘果の時期を通常 of 7月上旬より 2週間早めると、シートマルチ被覆時期に関係なく収穫時の階級比率が 2階級上がる。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	栽培	対象	果樹類	分類	指導

[背景・ねらい]

高品質ミカンの安定生産のために、土壌水分制御園での摘果による果実肥大促進ならびに品質向上技術を検討する。

処理の概要

処理	土壌管理	摘果時期	摘果方法
I	早期マルチ <sup>1)</sup>	早期 <sup>2)</sup>	枝別
II	早期マルチ	早期	全面
III	早期マルチ	通常 <sup>3)</sup>	全面
IV	通常マルチ <sup>4)</sup>	早期	枝別
V	通常マルチ	早期	全面
VI	通常マルチ	通常	全面
VII	露地	早期	枝別
VIII	露地	早期	全面
IX	露地	通常	全面

<sup>1)</sup> 2000年 6月16日樹冠下被覆

<sup>2)</sup> 2000年 8月 1日樹冠下被覆

<sup>3)</sup> 2000年 6月21日より実施

<sup>4)</sup> 2000年 7月 4日より実施

[成果の内容・特徴]

①階級比率では、マルチ栽培・通常摘果区がS級果中心であるのに対し、摘果時期が2週間早いマルチ栽培・早期摘果区は2階級大きいL級果の割合が高い。

1果平均重は、各区とも早期摘果区が大きい。

②果実品質では、糖度はシートマルチ被覆時期に関係なくマルチ被覆区が無処理区より高い。

[成果の活用面・留意点]

シートマルチ被覆栽培による摘果時の参考資料として活用できる。

[具体的データ]

表1 土壌管理, 摘果時期・方法の違いと 1果平均重, 階級比率

処理			階級比率					1果平均重
土壌管理	摘果時期	摘果方法	2L以上 (%)	L (%)	M (%)	S (%)	2S以下 (%)	(g)
早期マルチ	早期	枝別	22	33	26	15	3	105
早期マルチ	早期	全面	26	30	25	15	3	121
早期マルチ	通常	全面	6	23	28	33	10	98
通常マルチ	早期	枝別	4	28	28	25	5	109
通常マルチ	早期	全面	6	29	27	24	4	109
通常マルチ	通常	全面	7	21	29	33	11	100
露地	早期	枝別	38	35	19	6	1	131
露地	早期	全面	46	30	17	7	1	135
露地	通常	全面	25	36	25	13	2	120

表2 土壌管理, 摘果時期・方法の違いと果実品質\*

処理			果径指数	果肉歩合	着色歩合	糖度	酸含量	糖酸比
土壌管理	摘果時期	摘果方法	(%)			(g/100ml)		
早期マルチ	早期	枝別	1.20	77.2	8.7	11.7	0.77	14.6
早期マルチ	早期	全面	1.23	77.1	9.2	12.3	0.85	13.7
早期マルチ	通常	全面	1.22	76.2	7.0	11.9	0.75	13.6
通常マルチ	早期	枝別	1.23	77.3	8.6	11.8	0.76	13.6
通常マルチ	早期	全面	1.23	76.2	9.3	12.8	0.96	13.0
通常マルチ	通常	全面	1.26	77.5	8.9	12.4	0.77	13.9
露地	早期	枝別	1.21	78.0	7.7	9.7	0.73	13.4
露地	早期	全面	1.24	78.6	7.6	9.4	0.74	13.0
露地	通常	全面	1.24	80.0	8.2	9.9	0.64	15.6

\* 果実採取, 分析日: 2000年11月 9日

[その他]

研究課題名: 温州ミカンの品質保証果実の少資材・低コスト生産体系の確立

予算区分: 国庫(地域基幹)

研究期間: 平成12年度(平成11年~15年)

研究担当者: 山下次郎